TOTO

2012.3.15 D08431R

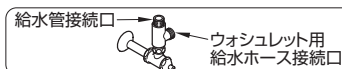
ウォシュレット® SB 施工説明書

WASHLET®

◆"ウォシュレット"はTOTOの登録商標です。

●施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

新機構情報

●すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。
　※旧型のベースプレートではウォシュレットが作動しません。
●分岐金具は必ず同梱のものに取り替えてください。 ※既設の分岐金具は使用できません。
●給水管、給水ホースの接続口を間違えないように取り付けてください。※水漏れの原因になります。

安全に関するご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

⚠警告	⚠注意
誤った取り扱いをすると、「人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容です。	誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例		
絵表示の例	⃠ してはいけない「禁止」の内容です。	❗ 必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠ 警　告

水場使用禁止 **浴室など湿気の多い場所には設置しない** (火災や感電の原因になります。)	禁止 **指定する電源（交流100V）以外では使用しない** (火災や感電の原因になります。)	禁止 **車輌・船舶など、移動体への設置はしない** (火災や感電、故障の原因になります。) (ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)
禁止 **水道水および飲用可能な井戸水（地下水）以外は使用しない** (皮膚の炎症などを起こす原因になります。)	禁止 **電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいままで使用しない** (火災や感電の原因になります。)	アース接続 **アース(D種接地工事100Ω以下)を確実に取り付ける** (アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)
必ず守る **電源プラグは根元まで確実に差し込む** (プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や感電の原因になります。)		

⚠ 注　意

禁止 **止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない** (水が噴き出します。)	禁止 **便座・便ふたを持って製品を持ち上げない** (ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)	禁止 **給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない** (水漏れの原因になります。)
必ず守る **給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める** (確実に締めないと水漏れの原因になります。)	必ず守る **施工は施工説明書に従って確実に行う** (正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。)	

取り付け前のご注意

1.製品への通電および通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
2.便器に取り付ける前に、ウォシュレット本体にベースプレートをセットして通電しないでください。温水タンクが空の状態でヒータが入るため、故障の原因となります。
3.電源は交流100V(50/60Hｚ)、定格消費電力は321Wです。この電力に適した配線をしているか確認してください。
4.電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
5.給水圧力範囲は0.05MPa(流動時)～0.75MPa(静止時)です。この圧力範囲でご使用ください。
6.給水温度は0～35℃です。この温度範囲でご使用ください。
7.同梱以外の給水ホース、分岐金具を使わないでください。
※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

下記の場合はTOTOメンテナンス㈱TOTOパーツセンターTEL 0120-8282-55
FAX 0120-8272-99へご連絡ください。

給水ホースの長さが不足の場合

給水ホースの長さは約950mmです。給水取り出し位置は、ウォシュレットが着脱できる余裕を設けてください。もし給水ホースの長さが足りない場合は、4給水ホースの接続の❷項に長い給水ホースを記載していますので、適切な長さのホースを選んでください。

右給水の隅付タンクへ接続する場合

隅付タンクの給水が向かって右側の場合は、給水ホースの長さが足りませんので、別売品の中継アダプタ（品番：TCA58）が必要となります。

フラッシュバルブへ接続する場合

①分岐口のあるFVに接続する場合→別売品の専用アダプタ(品番:TH343R)が必要になります。
②分岐口がないFVへ接続する場合→別売品の専用アダプタ(品番:TH484《FVの給排水芯120mm用》または品番:TH484-1《低圧FV用》)が必要になります。
③分岐口があるFV止水栓へ交換する場合→別売品の専用アダプタ(品番:TH347-1S《節水型》または品番:TH502-1S《普通型》)が必要になります。

止水栓の先端で給水が分岐しているタイプから取り替える場合

別売品の分岐金具（品番：TCA158）が必要になります。

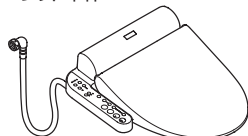
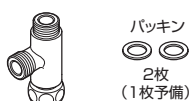
給水コンセントへ接続する場合

別売品のアダプタ（品番：TH778R）が必要になります。

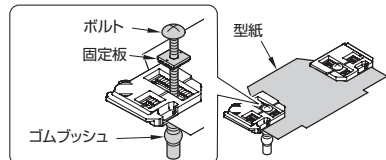
部品の確認

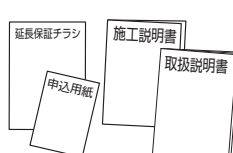
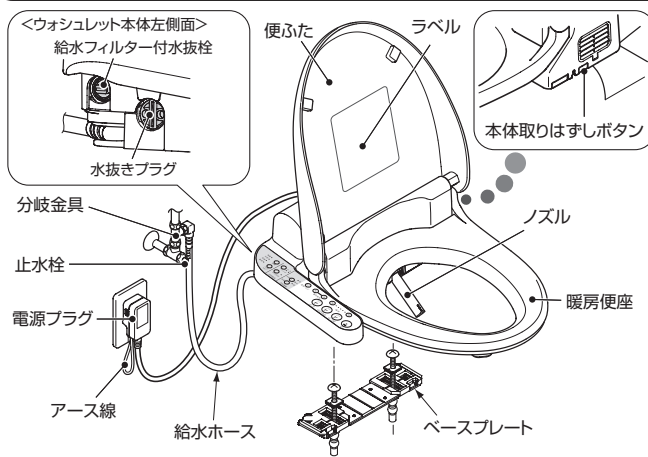
❶ ウォシュレット本体

❷ 分岐金具

パッキン
2枚
(1枚予備)

❸ ベースプレート一式

※分解せずにこのままで
便器に取り付けてください。

ボルト
固定板
ゴムブッシュ
型紙

❹ 取扱説明書
施工説明書
延長保証チラシ、申込用紙

延長保証チラシ
申込用紙
施工説明書
取扱説明書

各部の名称

取付方法

1 分岐金具の接続

記載の接続方法は代表例です。現地の配管に合わせて接続してください。
※分岐金具は必ず同梱のものを使用してください。

❶ 止水栓を閉め、給水管を取りはずす

②上下の袋ナットをゆるめる
③給水管を取りはずす
給水管
※さびている古い給水管は、お取り替えをおすすめします。
既設の分岐金具がある場合は取りはずす
①止水栓をいっぱいに閉める

❸ 給水管の止水栓側を切断する

分岐金具
給水管
パイプカッター
10〜15mm
不要部分
※差込部分10〜15mmを必ず確保する

- 給水管の切断はパイプカッターを使用してください。
- 切断後は切粉を取り除いてください。

接続部にテーパリングを使用している場合

給水管
袋ナット
テーパリング
パッキンガイド
パッキン
差込代 約10〜15mm
分岐金具
止水栓

接続部にテーパリングを使用していない場合

給水管
袋ナット
スリップワッシャ
ゴムパッキン
差込代 約10〜15mm
分岐金具
止水栓

- 部品の順番、向きを間違えないでください。

❷ 分岐金具を止水栓に取り付ける

※既設の分岐金具を取りはずし、必ず同梱の新しい分岐金具を取り付けてください。
分岐金具
分岐金具の袋ナットを止水栓に締め付ける
パッキン
既設の止水栓のものをはずして付け替える
止水栓

❹ 給水管を取り付ける

パッキン
既設のものをはずして付け替える
②分岐金具側の袋ナットを締め付ける
①ロータンク（ボールタップ）側の袋ナットを締め付ける
（図はフィルター・消音ブッシュ付の場合）
給水管接続口
ウォシュレット用給水ホース接続口

注意

- ボールタップ本体が回らないようにしっかり持って袋ナットを締めてください。
- ボールタップが傾いて取り付けられると止水不良の原因となります。

ボールタップ本体
袋ナット
ロータンク

止水栓の先端で給水が分岐しているタイプから取り替える場合

※別売品の分岐金具（品番:TCA158）が必要になります。

❶ 止水栓を閉める

❷ 既設止水栓の部品を取りはずす

❸ 分岐金具（別売品）を止水栓に取り付ける

①スピンドルを分岐金具から引っ張ってはずし、止水栓の奥までねじ込む
回してねじ込む
止水栓
スピンドル
袋ナット
分岐金具
②スピンドルに分岐金具（パッキン付）を通して取り付ける
③分岐金具の袋ナットを止水栓に締め付ける
※分岐金具は給水ホースを自由に動かせるように回転する構造になっています。
止水栓
⊖ドライバー
④分岐金具を取り付けた後、止水栓は必ず締め込む

取付完成図

回転構造

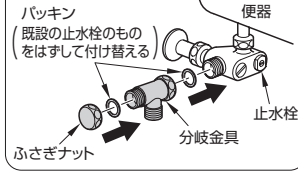
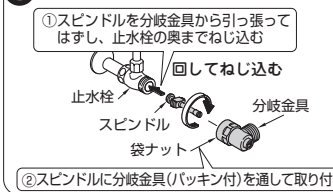
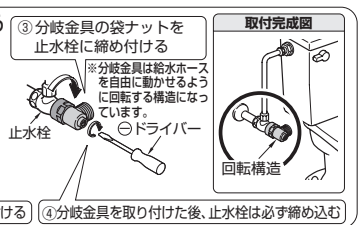
ワンピース便器へ接続する場合

❶ 止水栓を閉める

❷ ふさぎナットとゴムパッキンを取りはずす

- 既設の分岐金具がある場合は、取りはずしてください。

便器
止水栓
パッキン
ふさぎナット
パッキン
既設の止水栓のものをはずして付け替える
既設分岐金具

❸ 分岐金具を止水栓に取り付け、ふさぎナットとゴムパッキンを取り付ける

パッキン
既設の止水栓のものをはずして付け替える
便器
止水栓
ふさぎナット
分岐金具

2 ベースプレートの取り付けかた

注意 すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも、必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。
※旧型のベースプレートでは、ウォシュレットが取り付けできません。

❶ ベースプレートをセットする

- ベースプレートに付いている型紙はウォシュレットの取付位置を決めるためのものです。この型紙を正しくセットしてください。

注意 ベースプレート部品を分解しないでください。

型紙
ボルト
ベースプレート
ゴムブッシュ
便座取付穴
①型紙を組み立てる
※組み立て方は型紙をご覧ください。
②ゴムブッシュを便座取付穴に差し込む（左右2カ所）
- ゴムブッシュの表面を水でぬらしておくと差し込みやすくなります。

❷ 便器のサイズを調べる

ボルトの中心
ベースプレート
この長さをメジャーで測定する
ボルトの中心から便器先端までの長さを測定する
約47cm → 大形サイズの便器 3−A へ
約44cm → 普通サイズの便器 3−B へ

❸ ベースプレートの位置を決める

3−A 大形サイズ便器の場合

①ボルト中心と型紙の 大形サイズ標準位置 の位置をあわせる

ボルト
大形サイズ標準位置
普通サイズ標準位置
合わせる
※ボルトをゆるめ、固定板をつまんでから位置をずらしてください。

POINT!
固定板の凸とベースプレートの凹が、かみあっていることを確認してください。
突起が下側になります

ウォシュレットの背面に相当します。
ロータンク
※ここにすき間があいても問題ありません。
ベースプレート
型紙
黒線
（ノズル下部の位置に相当します。）

3−B 普通サイズ便器の場合

①ボルト中心と型紙の 普通サイズ標準位置 の位置をあわせる

大形サイズ標準位置
ボルト
普通サイズ標準位置
合わせる
※ボルトをゆるめ、固定板をつまんでから位置をずらしてください。

POINT!
固定板の凸とベースプレートの凹が、かみあっていることを確認してください。
突起が下側になります

型紙の後ろ
2mm以上
黒線

Ⓐロータンクと型紙の後ろのすき間があることを確認する
型紙の後ろ
ロータンク
2mm以上
黒線
便器
○ すき間あり（2mm以上が望ましい）
✕ すき間なし（すき間がないとウォシュレットの取り付けができません）

Ⓑ 型紙の黒線が便器のふちより前に出ているか、または一致していることを確認する

○前に出ている　○一致している　✕便器ふちより後ろ
前に出ている
一致
黒線
すき間あり ノズル下部が便器に乗り上げた状態です。
便器ふち

ⒶⒷの条件が ✕ の場合

片方でも ✕ の場合は下図のようにベースプレートを動かして Ⓐ、Ⓑ の条件が両方 ○ になるようにしてください。
ボルト
ベースプレートを前に動かす

❹ ベースプレートを固定する

②⊕ドライバーでボルトが回らなくなるまで、しっかり締め付ける（かなり回します）
①合わせた位置がずれないように、手でベースプレートをしっかり押さえる
ボルト
ベースプレート
パッキン
便器
ベースプレートが便器にあたるまで締め付ける
便器

❺ 型紙をはずす

ゆっくり引き上げる

3 ウォシュレットの取り付けかた

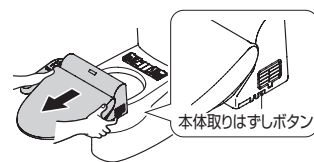
ウォシュレット本体を「カチッ」と音がするまでベースプレートに押し込む

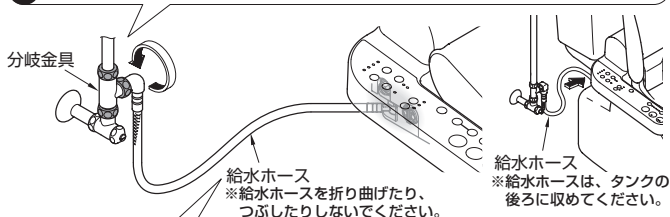
- ウォシュレット本体の中心とベースプレートの中心が合うようにして、ウォシュレット本体を押し込むと位置が合わせやすくなります。

注意 正しく取り付かなかった場合は、ウォシュレット本体をはずしてベースプレートをセットし直してください。

※便座クッションと便器の間にすき間がありますが、着座スイッチの構造によるものです。
※ウォシュレット本体を便器に取り付けた際、上下左右に若干のガタつきが発生します。
（これは、ワンタッチ着脱を行うために設けたスライド部のすき間によるものです。）

ウォシュレット本体の取りはずしかた

- ウォシュレット本体右側の本体取りはずしボタンを押したまま、ウォシュレット本体を手前に引いてください。

4 給水ホースの接続

1 分岐金具に給水ホースの袋ナットを締め付ける

2 給水ホースを取り付けた状態で、ウォシュレット本体が着脱できる長さがあるか確認する

※給水ホースの長さが足りないときは、下記の中から適切な長さのホースを選んでご購入ください。(同梱品の給水ホースの長さは約950mmです。)
お求めはTOTOメンテナンス㈱TOTOパーツセンター TEL📞0120−8282−55　FAX📞0120−8272−99 へご連絡ください。

給水ホース長さ違い一覧表

給水ホース長さ（mm）	品　番	希望小売価格
1180	TCA162	¥2,700（税込¥2,835）
1480	TCA163	¥3,000（税込¥3,150）
1980	TCA164	¥3,500（税込¥3,675）

●仕様・品番・希望小売価格などは予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

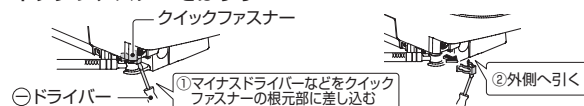
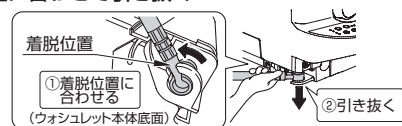
長さ違いの給水ホースを取り付ける

1. 給水ホースの取りはずし

1 ウォシュレット本体を取りはずす

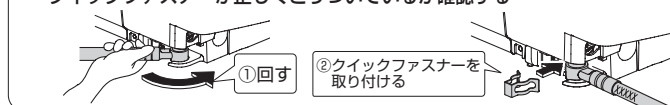
2 カバーを取りはずす

- ウォシュレット本体底面のフックをはずし、外側へ引いてください。

3 クイックファスナーをはずす

4 給水ホースを着脱位置に合わせて引き抜く

長さ違いの給水ホースを取り付ける（つづき）

2. 給水ホースの取り付け

1 給水ホースを着脱位置に合わせて差し込む

2 給水ホースを矢印の方向に回したあと、クイックファスナーを取り付ける クイックファスナーが正しくとりついているか確認する

3 カバーを取り付ける

4 ウォシュレット本体を取り付ける

5 電源プラグ（アース線）の接続と確認

1 アース線をコンセントのアース端子に接続する

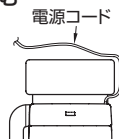
※アース端子がない場合は、電気工事店にご相談ください。
※コンセントに差し込む際、電源プラグにアース線をはさみ込まないよう注意してください。ショートの原因になります。

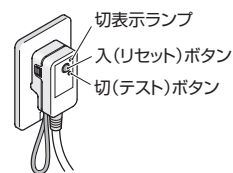
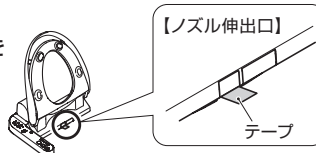
お願い

ノズル伸出口に貼ってあるテープをはがしてください。

2 電源プラグを100V（50/60Hz）のコンセントに差し込む

CHECK!
ノズルが一旦出て戻る初期動作を行うか確認してください。

※コンセントが電源コードの反対側にある場合は、タンクの裏側から電源コードを通すことをおすすめします。

3 電源プラグの「入」・「切」ボタンを押して正常に作動することを確認する

CHECK!
「切（テスト）」ボタンを押す
➡「切表示」ランプが点灯する
「入（リセット）」ボタンを押す
➡「切表示」ランプが消灯する
以上のように作動すれば正常です。

「切表示」ランプが点灯している状態では通電されません。
テスト後は必ず「入（リセット）」ボタンを押してください。

4 運転ランプが点灯していることを確認する

運転ランプが点滅している場合

- ウォシュレット本体がきちんと取り付いていません。
→ウォシュレット本体を一度はずしてから、もう一度ベースプレートにセットし直してください。

> 取付方法 3 ウォシュレットの取り付けかた

- ベースプレートがきちんと取り付いているか確認してください。
→固定板の向きはあっていますか？

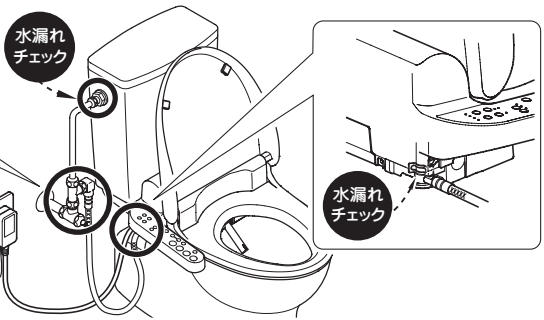
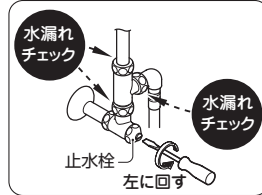
> 取付方法 2 ベースプレートの取り付けかた 3

試　運　転

- 試運転が完了したら「運転　入/切」スイッチが、「入」になっていることを確認してください。
  （「入」のときは、「運転」ランプが点灯します。）
  「運転　入/切」スイッチが「切」のときは、電源プラグをコンセントに差し込んでもウォシュレットは作動しません。
  ※お客様に引き渡すまでに時間があっても「運転　入/切」スイッチを切らないでください。

水漏れチェック
水漏れチェック
水漏れチェック
止水栓
左に回す
水漏れチェック

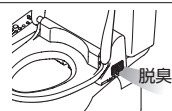
1 水漏れの点検

- 給水の前に配管接続部のゆるみがないか再確認する
- 止水栓を開いて、配管接続部から水漏れがないことを確認する
- ウォシュレット本体の給水接続部から水漏れがないか確認する
  ※万一、水漏れがあれば再施工を行い水漏れを止めてください。

2 機能の確認

❶ 便座の右側を手で押し、着座スイッチを入れる

POINT!
手で押したまま❷～❹の確認を行ってください。

❷ 脱臭機能を確認する

CHECK!
- ウォシュレット本体右側の吹出口より風が出ていますか？

❸ パワー脱臭機能を確認する

CHECK!
- パワー脱臭（入/切）を押すと脱臭音が大きくなりますか？
- もう一度 パワー脱臭（入/切） スイッチを押すと通常の音に戻りますか？

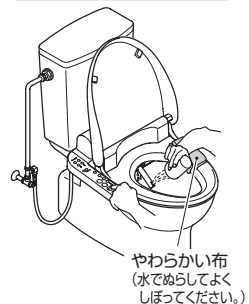
❹ オートパワー脱臭機能を確認する

CHECK!
- 便座を押した手をはずすと、約10秒後に脱臭音が大きくなりますか？
- 約2分後に自動で止まりますか？

❺ 洗浄機能を確認する

CHECK!
- おしり　やわらか　ビデ スイッチを押すとノズルから適温の温水が出ますか？
  （温水タンクが空のときは、吐水するまで約1分、温水になるまで約10分かかります。）
- 水勢調節スイッチ 水勢（弱）（強） を押すと水勢が変化しますか？
- 止（■）スイッチを押すと止まりますか？

POINT!
吐水は紙コップなどで受けてください。

やわらかい布
（水でぬらしてよくしぼってください。）

❻ 暖房便座機能を確認する

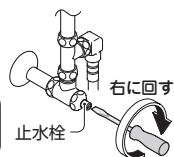
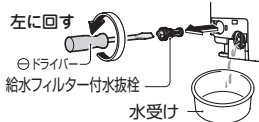
CHECK!
- 便座があたたまるまで約15分かかります。

給水フィルター付水抜栓の掃除

- 試運転後は必ず給水フィルター付水抜き栓を掃除してください。
  （フィルターにゴミが詰まると、おしり・ビデ洗浄時の水勢が弱くなります。）

❶ 止水栓を閉めて給水を止める

- ロータンクの水を流してください。
  （給水管内の圧抜きです。）

⚠ 注意
止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない　●水が噴き出します。

❷ 給水フィルター付水抜栓をゆるめた後、引っ張ってはずす

❸ フィルターを水洗いする

- 小さなゴミは歯ブラシなどで確実に取り除いてください。
- ウォシュレット本体の給水フィルター付水抜栓取付穴の中のゴミも綿棒などで取り除いてください。

❹ 給水フィルター付水抜栓を押し込み、確実に締める

⚠ 注意
給水フィルター付水抜栓は確実に締める
- 確実に締めないと水漏れの原因になります。

❺ 止水栓を開ける

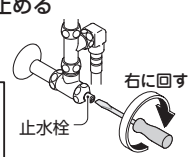
❻ 給水フィルター付水抜栓部から水漏れがないことを確認する

凍結のおそれがあるときの処置

- お客様に引き渡されるまでに凍結のおそれがあるときは、漏水事故防止のため、次の要領で水抜きしてください。（電源プラグは差し込んだままにしてください。）

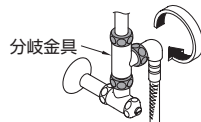
❶ 止水栓を閉めて給水を止める

- ロータンクの水を流してください。

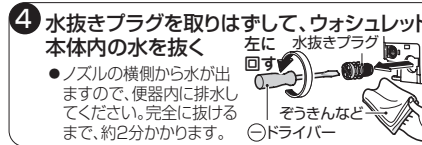
POINT!
ロータンクの水が流れ出てしまうまでレバーを回したままにしてください。

❷ 配管の水を抜く

- ウォシュレット本体操作部の「ノズルそうじ入/切」スイッチを押してノズルを伸出させた後、もう一度「ノズルそうじ　入/切」スイッチを押してノズルを戻す
  （給水管内の圧抜きをし、製品内の残水を抜きます。）
- 給水フィルター付水抜栓をはずす
  詳しくは、 給水フィルター付水抜栓の掃除 の項をご覧ください。

⚠ 注意
止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない
- 水が噴き出します。

- 給水ホースを分岐金具から取りはずし、先端を容器で受ける

❸ ウォシュレット本体を取りはずす

❹ 水抜きプラグを取りはずして、ウォシュレット本体内の水を抜く

- ノズルの横側から水が出ますので、便器内に排水してください。完全に抜けるまで、約2分かかります。

❺ 給水ホースを分岐金具に締め付ける

- 詳しくは 取付方法 4 給水ホースの接続❶項をご覧ください。

❻ 給水フィルター付水抜栓を取り付ける

- 給水フィルター付水抜栓を押し込み、確実に締めてください。

⚠ 注意
給水フィルター付水抜栓は確実に締める
- 確実に締めないと、水漏れの原因となります。

❼ 水抜きプラグを取り付ける

右に回す
水抜きプラグ
押し込む
⊖ドライバー
⊖ドライバーで確実に締める

❽ ウォシュレット本体を取り付ける

工事店様へ

- 取扱説明書の保証書に必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使い方についてお客様に説明してください。新築などでお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いておいてください。
  （ただし凍結が予想される場合は、電源プラグを抜かないでください。）